平成小だより

No. 7

令和８年１１月２日　台東区立平成小学校　校長　村上　桂一郎

平成小学校ホームページ　https://www.taito.ed.jp/1310213

「共感」・「創造」・「共生」の心を育む学習発表会

校長　村上　桂一郎

秋の色が一層深まり、朝夕の心地よい冷え込みとともに、子どもたちの成長の実りが感じられる季節となりました。保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今月末には、子どもたちが日頃の学習活動の成果を発揮する学習発表会を開催します。発表会当日は学年ごとに多様な表現の形を取り入れており、各教科・領域で子どもたちが探求してきた「多様な学びの姿」をご覧いただくことができます。

1年生と6年生は「演劇」に取り組みます。演劇とは、単に与えられた台詞を暗記して発話することではありません。「自分以外の誰かの心情や人生等を追体験する」という試みです。自分とは異なる立場や世界に身を置き、その背景にある感情等を想像することは、豊かな人間性や道徳性を育む上で欠かせない学びとなります。1年生の無垢な感性と、6年生の深みのある表現力が、他者に共感し心を通わせる価値を舞台上で生き生きと描き出します。

2年生と4年生は、図画工作科の授業で制作した作品を展示します。白紙の画用紙や形の定まらない材料に向き合うとき、子どもたちは「何をつくるか」「どう表現するか」という無限の選択肢と対話をしています。自らの眼差しを通して身の回りの世界を捉え直し、何もないところから意味や形を紡ぎ出していく過程には、自らの意志で問いを立て、新たな体験を生み出す創造性の本質が込められています。作品にちりばめられた個性溢れる表現から、子どもたちならではの視点や問いかけが感じ取れるはずです。

3年生と5年生は、「音楽発表（合奏・歌唱等）」を行います。合奏・歌唱等の魅力は、異なる音色やリズムをもった個人が、一つの調和（ハーモニー）を創り出すことにあります。古くから音楽が「世の中の調和」を映し出すものと考えられてきたように、合奏・歌唱等は個人と全体がどのように結びつくかを象徴しています。自分の音を主張するだけでなく、他者の奏でる音に耳を傾け、響き合う中で自己の役割を果たすことは、互いの違いを認め合いながら共に美しいものを創り上げる「共生」の姿勢について、身をもって学ぶことにもつながります。

言葉と空間で表現する演劇、造形と色彩で創り上げる作品展示、音色と調和で奏でる音楽。

これらはすべて、子どもたちが「自分とは何か」、「他者や周囲の世界とどう関わるか」という根源的な問いに、全身で応えようとする探究の姿そのものと言えます。

当日は、ぜひ子どもたちの成長の向こう側にある「一人ひとりの思考と努力の軌跡」に思いを馳せながら、温かい拍手をお贈りいただければ幸いです。

１１月の目標

【生活】 進んで仕事をしましょう
【安全】（交通）自動車に気を付けましょう（安全）安全に休み時間を過ごしましょう
【保健】 姿勢を正しくしましょう
【給食】 感謝して食べましょう　食べ物の大切さを知りましょう

陸上教室

先月は、フォルテスポーツの方をお迎えし、陸上教室運動を開催しました。5・6 年生を対象に以下のことをご指導していただきました。

【ハードル走】インターバルの走り方やジャンプの方法

【走り高跳び】クロスバーに対する体の向きや角度について

【走り幅跳び】より前に跳ぶための視線の向け方などについて

初めは、跳ぶこと自体に怖さを感じ、途中で止まってしまっていた子もいましたが、練習を重ねる中で、「できた！」「速くなった！」と自分自身や友達の成長を喜ぶ姿が見られました。

今回教えていただいたことを、これからの練習にも生かしていきます！

また、1～4 年生は、3 学期に走り方教室を予定しています。速く走るためのポイントを教えていただき、今後の体育学習に繋げていきたいと思います。







1 年生校外学習　10月15日（木）

校外学習でふなばしアンデルセン公園に行きました。バスに乗っての校外学習は初めてでしたが、窓の景色を見たり、みんなで映画を見たりと、楽しい時間を過ごしました。公園では、うさぎやモルモット、やぎ、羊と触れ合ったり、リース作りに使うどんぐりを拾ったりしました。お昼は芝生の上で友達とお弁当を食べ、午後はアスレチック広場で思い切り体を動かして楽しみました。また、バスの運転手さんや公園の係の方に進んであいさつをしたり、友達となかよく遊んだりする姿が見られ、人との関わり方にも成長を感じることができました。





